



得意のフットワークで要求実現

No.89

# まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町12-58-108 能登レックスマンション Tel・Fax73-0775

携帯 090-6960-4570 議員団控え室 Tel35-3368 Fax22-7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログは「まつお正秀の雑記帳」検索で

## 本年もよろしく願いいたします

### 任期折り返しの年、さらに頑張ります

今年はい年です。干支の6番目ですが、「巳」は胎児を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて這い出す姿を表したとも言われ、起こる・始まる・定まるなどの意味があるそうです。私自身、二年前のいつせい地方選から今年の4月で二年の折り返しを迎えるにあたり、新たな気持ちでさらに頑張っていく決意です。



今年で阪神大震災

から18年。当時この震災で市がURから借り上げた市営住宅の借上げ期限が20年であるということから、早い住宅ではその期限が3年を切り、遅い住宅でも5年後までに入居者が住み替えを余儀なくされていますが、全く環境の違う場所に行くことが孤独死につながるという問題は、阪神大震災でもすでに経験したことです。今は入居時からさらに高齢化が進むと同時に、障害者にとっても命にかかわる問題にもつながりかねません。これは西宮市だけでなく神戸市や県の借り

上げ住宅などでも大きな問題となっており、日本共産党西宮市議員団としても、住み続けられるように昨年は毎議会場で繰り返し取り上げてきたところでした。昨年の12月議会では私まつおが一般質問に立ち、6月議会に続いてこの問題を取り上げました。市は、「基本は20年の期限でURに返還」の立場を崩しませんでしたが、年末の新聞では、「県は高齢者や障害者は継続入居の方針」との報道があり、市の態度が大きな問題をはらんでいることが明らかになっています。

困った時は日本共産党

上記まつお迄

活動報告は上記の議員団ホームページから

まつおの議会質問詳細 (答弁含む) 等は西宮市役所ホームページの「市議会会議録」検索で

# 2012年 12月議会特集

## まつお正秀の一般質問

### ① 平和行政について

来年(今年のこと) 西宮市が平和非核都市宣言を行って30年を迎えることから、節目の年にふさわしい取り組みを行うよう求め、広島の被爆桐や長崎のクスノキの苗木を譲り受け、公園に植樹して平和公園としてはどうかと提案。

### ② 住宅リフォーム助成制度

わが党が繰り返し求めてきた住宅リフォーム助成制度が今年度初めて取り組まれました。申し込みの現状を聞くとともに、広報の在り方が不十分だったことを具体的事例を示し、その改善と、来年度は予算を増額して取り組むよう求めました。

### ③ UR借り上げ住宅問題

すでに他の市営住宅などへの住み替えが進められています。当時の入居者に入居にあたって、公営住宅法に基づく「事前通知」が行われていなかったことを具体的な条文や資料を示して当局を追及。繰り返しての再質問で、ついに法で定められた手続きを行っていたことを当局は認めました。

## 議案撤回で意見表明

12月議会には市営住宅の管理を新年度から二地区から三地区に分け、市は北部を東急コミュニティという管理会社を指定する提案がありました。ところが、この会社の職員が管理を担当するマンションの管理費使い込み事案が過去に二件発生していたことが判明。当局はついにこの議案を撤回せざるをえなくなり、本会議最終日に、私まつおが「撤回は当然であり、このような業者を提案してきた市の姿勢に問題がある」との意見表明を行いました。

## ますます疑念深まる高木小分離新設

このニュースの11月号で書いた突然の高木小学校分離新設問題。教室不足解消は党議員団としても求めてきたもので当然ですが、新たに建設用地とされる三井住友銀行社宅跡地の代替え地に、利便性の高い両度町にある市有地を銀行側に提供する予定であることが明らかに。59億円の事業を突然提案し、市民の意見を聞くパブリックコメントを急ぐ背景に、何か裏にあるのではと勘繰りたくなるやり方を批判しました。(わが党野口議員の一般質問で)

## まつお正秀のヒラム

12月議会と衆議院選挙が重なったのは私として初めての経験でした。結果は民主党激減で自民党圧勝という形となりましたが、政権交代によって政策がころころ変われば、地方自治体は良かれ悪しかれ振り回されることに。今回は大型補正予算や公共事業を増やす方向性は見えています。まだ具体的に自治体としての対応は不透明でしょう。しかし、来年度予算で50兆円の国債発行という報道を見る限り、さらに国民の借金は増え続け、銀行が儲かる国債の利払いも増え続けることに。箱モノを作れば自然と地方の借金も増える仕組みになります。ですから、市の借金も増えることにもつながります。アメリカでは財政の崖が大問題になっていますが、「大洪水よ、我が亡き後に来たれ」の、資本家の本質をついたマルクスが引用した言葉が頭をよぎります。